資料－5

地震・津波災害に強いまちづくり検討委員会

検討内容・進め方

1. アウトプット

○ 地震・津波災害に強いまちづくりガイドライン（仮称）の策定
（地震・津波災害に強いまちづくりを目指した計画立案や整備実施の際の着眼点・留意点）
※想定する災害：東海・東南海・南海地震等の発生による津波災害
※活用対象は、中部圏の市町村職員
※各施策のガイドラインを横断的にとりまとめ

2. 成果の活用

○ 策定したガイドラインを中部圏の市町村に配付し、各市町村の地震・津波災害に強いまちづくりへの取組の促進を図る。

○ 中部圏地震防災基本戦略「優先的に取り組むべき連携課題」である「災害に強いまちづくり」を受けた検討成果として活用。

3. 進め方

○ 中部圏の特徴を踏まえるため、検討委員会参画の市町をモデルに現地調査・まちづくり計画の作成を行いながら参考となる施策を抽出し、ガイドラインに反映。

○ 中部圏地震防災基本戦略の「優先的に取り組むべき連携課題」である「災害に強いまちづくり」の検討の一環として、中部地方整備局が幹事となり検討委員会運営・とりまとめ等を担当。4県（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）を副幹事とし、ガイドラインを協働で策定。

○ スケジュール
平成24年4月　検討委員会設立
平成24年度　　検討委員会を5回程度開催（現地調査含む）
平成24年度末　ガイドラインの中間とりまとめ・公表
平成25年度末　ガイドラインの最終とりまとめ・公表

4. 検討項目（案）

H24.4.11 第1回	①先進的取組市町の報告 ②地震・津波災害に強いまちづくりに係る現状・課題 ・ 東日本大震災の教訓 ・ 津波防災地域づくり法 ・ 中部圏の防災施設の現状、市町村の取り組み状況
夏頃 第2回	③地震・津波災害に強いまちづくりの推進に向けた基本的な考え方 ・ 地域特性(中部)、長期的な視点、限界の認識、住民との連携、時間軸、整備目標、コスト、ハード・ソフト等 ・ 地域条件の違い （海岸平野部、山地が迫る沿岸部、半島・島しょ部、内湾低平地部）
秋～冬 第3～5回	④モデル地区の選定・まちづくり計画（案）の検討 （モデル地区案） ・ 半島・島しょ部（三重県尾鷲市） ・ 海岸平野部（静岡県吉田町） ・ 内湾低平地部（愛知県東海市） ⑤各モデル地区の現地調査・まちづくり計画（案）の作成 ・ 現状・課題 ・ 災害に強いまちづくり計画（案） ⑥基本的な考え方やモデル地区での検討を通して中部圏の市町村の参考となるポイントの整理
平成24年度末 第6回	⑦地震・津波災害に強いまちづくりガイドライン（中間とりまとめ） ・ 災害に強いまちづくりを計画・実施する上での参考となる事項 ※災害に強いまちづくりの検討の進め方 必要性の明確化→現状・課題→対象地区選定→基本方針・基本施策→計画策定→実施 ※地域条件による災害に強いまちづくり計画（案）の例示

平成25年度
地震・津波災害に強いまちづくりガイドラインの策定